



JTA Journal

ジャーナル

January 2025

No.39



年頭所感

会
長
松
本
克
洋

令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。平素から、関係各位のご支援、ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年秋の衆議院議員選挙において、政権与党が過半数を下回り、野党勢力が議席を増やしました。また、米国でも今月には、第二次トランプ政権が発足する予定です。現在の報道では米国政府による関税の引上げ政策で、円安ドル高の状況が続くといわれています。昨年度の当工業会の生産額は4,641億円であり、一昨年度の4,915億円を超える事ができませんでした。今年度生産額の当初見通しを約4,950億円としておりましたが、昨年10月の秋季総会で、4,703億円への改訂をご報告いたしました。昨年度比で増加しておりますが、一昨年度実績を超える事ができない状況です。これは、国内の電機・情報通信機器等ハイテク関連向け工具の生産増加と、世界的な半導体需要の回復により関連工具が伸びたものの、国内自動車関連の回復遅れによる為と推測します。そこで、令和7年度の目標としましては、冒頭の米国の政策で厳しい状況ではありますが、生産額5,000億円の達成です。昨年9月に3社の会員企業の方々が、初めて米国開催のIMTSの工業会共同ブースにて出展されました。3社の皆様がどの様にお感じになられたかは、興味深いところですが、米国でのお客様との会話から生まれた種は、必ずや実を結ぶと思っております。今年も次の市場として期待される、インドのIMTEXへの視察ツアーや、前回同様にEMOでの共同出展を工業会としても企画しております。皆様がそれらに参加し、そこから販路を見つけ、それにより生産がアップし、少しでも5,000億円に到達する為に努力される事を期待しております。

ところで、今年の干支は巳(蛇)です。巳年は復活と再生を意味する年であり、金運上昇、商売繁盛、また蛇はしばらく食べなくても生きていられる事から忍耐強く、長寿、子宝でも良い年と言われています。まずは、景気の浮揚に伴い、我々の業界の生産額が復活する事を切に願っております。

また、今年は4月13日～10月13日にかけて、大阪・関西万博が開催されます。前回大阪で開催された日本万国博覧会大阪が、半世紀以上前の1970年に開催されております。動く歩道、モノレール、リニアモーターカー、電気自転車、電気自動車、テレビ電話、携帯電話等、21世紀の現代社会で普及している製品やサービスが初めて登場しました。当時、夢の製品と思われていたものが50年後には、もはや当たり前のものとなり、それが無くては生活に支障が出るものになっている事に少なからず驚きを隠せません。今年の万博でも新たに発表される技術や製品が、50年後にはどのような形で世界に浸透しているのか、また、どの様に発展するのか楽しみで仕方ありません。空飛ぶクルマや、人工多能性幹細胞(iPS細胞)技術を応用した、生きる心臓モデルなど、私達のイマジネーションが及びもつかないようなインフラや、医療における治療技術など50年後の世界を垣間見る事ができるかもしれません。そういった意味では、工具の刃先が石器、青銅器、鉄器、特殊鋼、超硬、セラミックと変化してはいるものの、約3,000年以上基本的には回転して切削する事自体は変わっていません。加工はこのまま、回転し切削し続けるのか、そうであればどの様に進化していくのか、万博で技術の種が見つかるかもしれません。

最後になりましたが、日本機械工具工業会会員の皆様の一層のご活躍と、巳年に復活の年となり、商売繁盛となるよう祈念いたしまして、年初のご挨拶とさせていただきます。

(株)不二越 執行役員工具事業部長)



年頭所感

経済産業省製造産業局 産業機械課

須賀 千鶴

令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、年始の能登半島地震をはじめとして、台風や豪雨など、多くの予期せぬ自然災害が発生した一年でした。被災された方々に、改めて心よりお見舞いを申し上げます。特に能登半島地震で被害を受けた地域では、復旧・復興ははまだ半ばです。経済産業省として、引き続き復旧・復興に全力を尽くしてまいります。

世界が激動する中で、我が国の経済と社会の安定をいかに守り抜くかが問われた一年でもありました。依然として中東やウクライナにおける戦争は収束の兆しを見せず、我が国のエネルギー政策や産業政策も大きな影響を受けています。また、アメリカではトランプ新政権が発足しようとしており、経済・外交政策がどう変化するか、その一挙一動に世界が注目しています。

こうした中、産業政策については、近年のDXやGXなどの成長分野への積極的な国内投資が実を結び始めています。実際、30年ぶりとなる水準の賃上げ、100兆円を超える積極的な設備投資、史上最高水準の株価、そして名目GDPが初めて600兆円を超えるなど、顕著な成果が現れました。しかし、現在の物価高の影響を受け、消費は依然として力強さを欠いています。このような状況を踏まえ、長年続いたコストカット型経済から「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への確実な転換を実現するためには、物価高に負けない持続的な賃上げの実現と、これをさらなる消費と投資へと結びつけていく必要があると考えています。

大企業だけではなく、地元の中小企業においても「稼ぐ力」をつけるため、イノベーション促進のための量子や宇宙分野への大規模投資や、スタートアップの事業化、海外展開への支援をしていきます。また、人手不足という社会的課題に対処するため、ロボット等で省力化や生産性向上を実現する技術の開発を促進するオープンな環境を整備し、産業のDXを推進していきます。

取引適正化に向けて、「価格交渉促進月間」における取組をはじめ、産業界の皆様には多大な御協力を賜り、感謝申し上げます。今後もサプライチェーン全体で適正な価格転嫁を定着させるため、様々な取組を進めてまいります。

GXでは、昨年末にとりまとめた「GX2040ビジョン」と「エネルギー基本計画」にもありますように、電力需要が増加する中、徹底した省エネに加え、再エネや原子力などの脱炭素電源の最大限の活用を進めてまいります。GXの推進にあたっては、アジアの同志国との連携も強化していきます。昨年の第2回AZEC首脳会合では、日本のリーダーシップのもとで「今後10年のためのアクションプラン」が合意され、今後、ルール形成を含む政策協調とプロジェクトの実施が進んでいきます。

経済安全保障の確保に向け、技術革新への投資や需要側の取組を含めたサプライチェーンの強靱化といった政策により、我が国の製品や技術力の優位性を確保してまいります。そのために、技術流出対策や重要物資の安定供給のための支援にも引き続き取り組んでまいります。

日本の製造業は、急速に変化し続ける環境の中で、複雑で困難な課題に多く直面しています。しかし、それらに果敢に取り組みイノベーションを続けることで、成長を続けられると確信しています。引き続き、皆様の現場の生の声をお伺いし、それらを政策に活かしてまいります。

福島復興と東京電力福島第一原子力発電所の安全かつ着実な廃炉は、引き続き経済産業省の最重要課題であり、今後もこれらに全力で取り組みます。

さて、大阪・関西万博の開催までいよいよ3ヶ月を切りました。「未来社会の実験場」のコンセプトにふさわしい最先端分野の技術が国内外から集結いたします。ぜひ、会場まで足を運んでいただき、新たな産業の誕生と成長の可能性とそれがもたらす未来社会を間近で感じていただきたいと思います。

本年が、皆様方にとって実りの多い一年となりますよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

2024年度秋季総会



秋季総会の様子



ゲスト講演
元シャープ・インド社長 磯貝富夫様

10月23日大磯プリンスホテルにて、会員68社がリアル出席、経済産業省製造産業局産業機械課の川内拓行課長補佐、宇佐美尚都係長のオンラインでのご臨席をいただき、2024年度秋季総会が開催された。

まず松本会長は急遽欠席となったため、浦本総務委員長（㈱不二越）が「今年度4月から8月までの当工業会の生産額は月平均で見ると約386億円となる。このまま進むと単純計算で、生産額は4,630億円にとどまり、4,950億円に届かない。そのため誠に遺憾ながら、改訂見通しを4,703億円とした。今年は半導体等のハイテク株の高騰で半導体関連企業を中心に景気が上向いてきたという情報もあったが、我々工具メーカーとしてはその景気上昇の恩恵は、いまだ受けることができていないと思えてならない。そんな中、JIMTOF2024（第32回日本国際工作機械見本市）の開催まであと2週間となった。会員の皆さまが心血を注いで開発された新たな工具のお披露目となる。JIMTOF2024を契機に、工具分野も受注増・生産額

増となるように、会員の皆さまと一緒に一致団結してまいりましょう。」と会長挨拶を代読された。

続いて来賓挨拶として経済産業省の川内様より最近の政策動向についてお話いただいた。

次に、佐橋副会長の議事進行のもと、次の5件の報告がなされた。

- ①日本機械工具工業会賞（業界功労賞、技術功績賞、環境賞）発表
- ②各委員会活動報告：浦本総務委員長、辻村技術委員長（オーエスジー㈱）、大橋環境委員長（三菱マテリアル㈱）、田中国際委員長（住友電気工業㈱）より、それぞれの委員会活動報告が行なわれた。
- ③2024年度改訂生産額見通し
- ④IMTEX2025 ツアー、EMO2025 共同出展
- ⑤主要行事

その後、元シャープ・インド社長の磯貝富夫様より「最近のインド事情とインドとの付き合い方10ヶ条Do's & Dont's」についてご講演いただいた。



浦本総務委員長



辻村技術委員長



大橋環境委員長



田中国際委員長



総括 寺島副会長



中締め 佐橋副会長



乾杯の様子

最後に寺島副会長に総括をいただき、閉会となった。続いて、2024年度日本機械工具工業会賞の表彰式が行われた。業界功労賞1名、技術功績賞7社9件、技術奨励賞1社1件、環境大賞2社、環境特別賞2社が受賞され、受賞者を代表して牛島望氏（住友電気工業㈱・㈱アライドマテリアル）より謝辞をいただいた。その後の懇親会は、寺島副会長の乾杯のご発声で開宴し、歓談の後、佐橋副会長の中締めによって閉会した。

翌24日は、神奈川県愛甲郡愛川町にある牧野フライス精機㈱の本社・工場および㈱牧野フライス製作所の厚木事業所を訪問した。

牧野フライス精機㈱は、世界最高水準の工具研削盤を提供する工作機械メーカーである。今回は、2019年に竣工した本社・工場を見学した。工場内には、初期の万能工具研削盤が大切に保存されつつも、最新の高精密CNC工具研削盤、高精密CNC極小径工具研削盤などが組み立て・設置されていた。また、同社の第三世代となる工具研削用ソフトウェアTool

Creator[®]は、超高速3Dシミュレーション及び高度な自動化など様々な外部機器との拡張性能を備えたソフトウェアとなっている。

続いて、㈱牧野フライス製作所を訪問。1937年5月に創業、NC及びMCなどの先駆けであり、量産品より多品種・高剛性、豊富なオプションの高級機を指向するため、技術面で業界の先導役的な存在である。2024年3月期の連結従業員は4,782名。今回の見学は、キャッチフレーズとされている“クオリティ・ファースト”を裏付ける、クリーンルームで作られる超高精度スピンドルの生産及び検査ラインから始まり、最新の立形MCおよび横形のMCがフル生産されている広大な生産ラインの端から端まで、さらに、金型の加工方法をあらゆる角度から助言を行うカスタマアプリケーションセンタ、NC放電加工機及び水中レーザ加工機など、2時間を超えてのご案内をいただいた。

総じて想像を超えた内容であり、工場見学の醍醐味と重要性を実感した。改めて訪問させていただいた2社に厚く御礼申し上げたい。



㈱牧野フライス製作所見学集合写真



牧野フライス精機㈱見学集合写真

2024年度 環境活動報告

環境委員会委員長 大橋 忠一 (三菱マテリアル(株) 加工事業カンパニー安全環境品質本部)
環境委員会副委員長 宮浦 宗之 (株不二越 生産技術部)
環境賞専門委員会委員長 諏訪 岳之 (株タンガロイ 品質保証部)
環境調和製品基準評価委員会委員長 浅井 純 (エフ・ピー・ツール(株) 総務部)
環境対応専門委員会委員長 田中健太郎 (富士ダイス(株) 品質保証部 兼 サステナビリティ推進室)

1. はじめに

我々を取り巻く環境は変化し続けており、不確実な方向に向かっていくようにも感じられます。このような状況においても日本機械工具工業会 (JTA) の会員企業の皆様は持続的な事業の発展を目指して日々の活動に取り組んでおられると思います。お客様から求められる製品を提供し続けることはもちろんですが、社会からの要求は多様化しており環境対応の重要度も年々増えています。環境委員会では、例えばお客様からの二酸化炭素 (CO₂) 排出量の問合せを頂く機会が増えていることを受けてJTA参考値、各社個別値に関するガイドラインを会員サイトに公開するなどの対応を行いました。

環境への対応は、全ての企業が避けては通れません。環境委員会では、会員企業の皆様が安心して事業を行っていただけるように活動を進めております。ここでは、その活動状況を報告させていただきます。

2. 報告

(1) 環境調査

2024年6月15日に正会員企業に向けて、工業会の環境状況の把握および環境賞審査資料とすることを目的に、環境調査票と環境活動賞推薦のご提出をお願いしました。

①環境調査票回答状況

■集計期間：2023年4月1日～2024年3月31日

■回答企業数：43社 (回答提出率：52%)

2024年度環境調査票の回答提出率は、前年48%から改善しましたが、2022年度実績の54%には及びませんでした。回答提出率向上のために、2024年度から開始した環境調査票入力説明会を来年も継続することを含め、会員企業各社に働きかけてまいります。

②調査内容

調査内容は、大きく分けて2つあり、環境マネジメント (化学物質管理、環境負荷低減含む) に関するものと、温暖化対策・廃棄物対策に関する改善活動です。調査項目は表1に示す全33項目で、環境マネジメントが17項目で48点、改善活動が16項目で92点の合計140点満点となっています。

③調査結果

調査結果を図1に示します。総合得点・改善活動は、前年から得点が上がった (良化した) 企業と、得点が下がった (悪化した) 企業がほぼ同率となりました。環境マネジメントは、昨年同等の企業が4割以上を占めていますが、悪化した企業は昨年の42%から22%に減少しました。

昨年同様に、調査票を提出いただいた会員企業には、評価項目別点数をフィードバックいたします。その一例を図2に示します。評価項目毎の点数分布と自社の位置、自社の得点率推移、CO₂排出量推移をお知らせすることにより、工業会でのポジションや改善活動の成果が分かり、活動の

強化に役立てていただけると考えております。

(2) 環境賞の表彰と環境活動交流発表会

毎年、会員企業から提出された環境調査票の内容をもとに各企業の模範となる活動に対して「環境賞」が贈られます。2024年度も環境委員会にて調査票内容を厳正に評価・選考ののち理事会に推薦、承認を受けて環境大賞および特別賞が決定し、10月23日の2024年度秋季総会で受賞式が執り行われました。受賞企業については、JTAホームページもしくはJTAジャーナル第38号をご覧ください。

また、環境改善に寄与した活動に贈られる「環境活動賞」の表彰も行っております。受賞内容の具体的な活動事例は、環境活動交流発表会を実施し、共有をしております。2024年度の交流会につきましては2025年3月、昨年に引き続きWEB併用にて開催予定です。全ての会員企業にご参加いただけますよう、ご協力をお願いいたします。実施要項を取りまとめ、決定次第会員企業へご連絡いたします。

(3) 環境調和製品認定制度について

JTAが定める環境基準を満たした製品を環境調和製品として認定し、環境調和製品認定ラベルを付与しています (図3)。2024年度の環境調和製品の認定数は、現時点で23件となっており、前年同時期と比較して1件増加しました。

環境調和製品認定制度は、2007年に旧超硬工具協会が運用を開始し、2015年にJTAが発足する際に、この制度の諸基準も継承しています。以来、環境調和製品の認定が恒常化していることから、2024年3月15日の環境委員会の審議において日本機械工具工業会規格 (TAS) とする方針が承認され、これに基づき、2024年12月6日の技術環境合同委員会でTAS14021：2024として制定いたしました。規格番号については、環境表示に関する国際規格ISO14021とテーマが通底するため、それに倣ったものです。

規格への移行に伴い、既存の運用規定類を加除修正しましたが、機械工具業界として地球環境に配慮し、持続的な発展を目指して、環境負荷の少ない資材の調達、効率的な生産の追求、そして環境に調和した製品の製造・販売を推進するという本旨に変更ありません。

今回の規格化を通じて文書管理及び改正手続きを公式化することで、制度の変遷過程を将来にわたって明示し、利用者に対する透明性が担保されるとともに、単なる内部規則の範囲を超えて各ステークホルダーへの認知度向上が期待されます。

今後とも、顧客との環境コミュニケーションのツールとして付加価値を高める活動を推進してまいります。

(4) 環境対応活動

①工具1本あたりにおける製造時のCO₂排出量算出

社会的ニーズの高まりを受け、工具製造時におけるCO₂排出量の算出方法ならびに、JTAとしての参考値を協議し、

結果を「工具製造に関するCO₂排出量のガイドラインについて」としてJTAホームページに公開しました※会員のみアクセス可能 (JTAHP→会員サイト→PW入力→環境委員会関連資料→工具製造に関するCO₂排出量のガイドラインについて)。

②製品ケースにおける環境負荷低減方針の検討

製品ケースに使用するプラスチック類に関し、環境負荷低減に向けた方向性を検討しています。施策として一般的には脱プラスチックやプラスチックの資源循環等がありますが、どれも一長一短であり、現在は関係業界の対応状況

を確認するためヒアリングを行っています。引き続き検討を進め、2024年度内に方針を定める予定です。

3. 最後に

会員企業の皆様に役立つ情報をタイムリーに提供していくことも環境委員会の大切な役割の一つと考えています。JTAHP会員サイト内環境委員会関連資料ページでは、CO₂排出量以外にも様々な環境情報を掲載更新してまいりますので、ぜひご覧ください。

表1 環境調査項目

環境マネジメント			改善活動								
環境マネジメント	1	ISO14001の認証又はそれに準じる環境審査・認証	48点	温暖化対策	18	電気使用量(生産高単位)が前年度より2%以上削減	48点				
	2	環境方針又はそれに準じる方針			19	配送業者へ委託の場合: 製品を配送する委託配送業者のISO14001(又はそれに準ずる活動実施)取得率 配送業者:配送量の70%以上を占める業者を対象とする(環境調和製品認定基準3項「物流」を参照のこと) 自社(グループ企業含む)配送の場合: 社有車の低公害車の割合が50%以上、または超低公害車の割合が20%以上					
	3	環境推進組織									
	4	社員への環境教育									
	5	環境事故(緊急事態)への対応訓練									
	6	環境目標設定(エネルギー・廃棄物)									
	7	グリーン調達規程が有る									
	8	環境に配慮した事務用品を使用している									
	9	商社および原料採掘鉱山へ調達基準を伝達している									
	10	下請け会社、主要納入業者に環境教育実施している									
	11	下請け会社、主要納入業者は、環境に配慮した製造を実施している									
管化学物質	12	欧州化学物質規制(例:RoHS物質)の規制物質が製品及びその包装材料に最大許容濃度(閾値)を超えて含まれていない	8点	20			対前年度比、エネルギー(CO ₂ 換算)削減率	21	対前年度比、生産高単位のCO ₂ 削減率		
	13	PCB(ポリ塩化ビフェニル)処理									
低環境負荷	14	環境にやさしい(配慮した)製品の開発に取り組んでいますか	12点	22	水使用量(生産高単位)が前年度より2%以上削減された	23	総廃棄物量(生産高単位)が前年度より2%以上削減された				
	15	社内の環境改善活動に取り組んでいますか			24		総廃棄物量に占める埋め立て廃棄物の量は3%以内である	25	廃製品を市中から回収している		
	16	地域(地球環境を含む)の環境改善活動に取り組んでいますか(社会貢献活動)					26		製品の包装容器はリサイクル可能で、包装材料に塩化ビニルを含まない	27	包装材、包装容器はリサイクル率、リデュース率、リユース率は総計10%を越えている
	17	生物多様性環境対応							28		再資源化(リサイクル)率
小計 48点			加算点	30		生産高単位でCO ₂ が直近3年推移、連続で削減					15点
				31	ゼロエミッションの継続(99%以上)						
				32	再資源化(リサイクル)伸び率						
				33	罰則等に抵触する場合	-50点					
			小計 92点			合計 140点					

図1 環境調査結果(2023年度比2024年度)

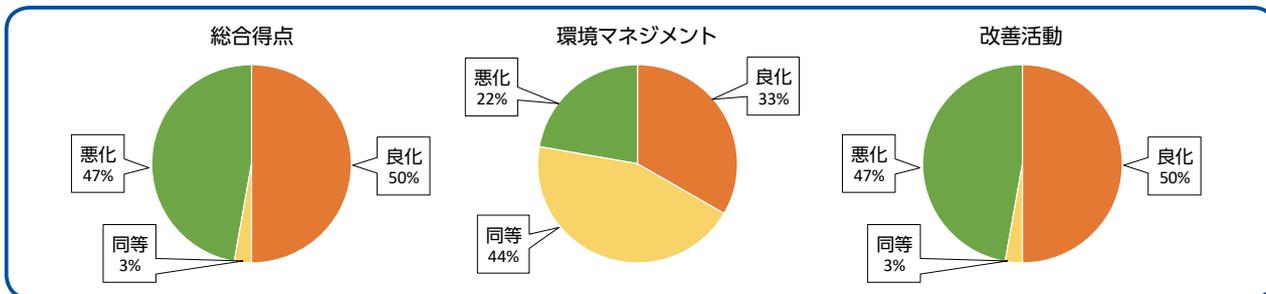


図2 フィードバック例

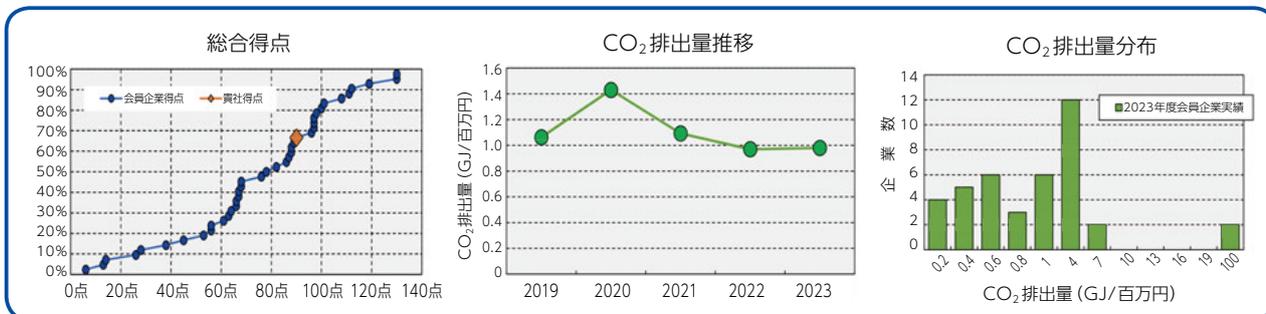


図3 環境調和製品認定ラベル



JIMTOF2024 (第32回日本国際工作機械見本市)

11月5日(火)～10日(日)の6日間、東京ビッグサイトにてJIMTOF2024が開催されました。今回は西館・東館の時差開場、オンライン招待券の導入などが新たに試みられました。出展は国内外併せて1,262社5,743小間、日本機械工具工業会としては、会員73社425小間での出展となりました。また、来場者数は海外来場者含めて6日間で129,018人(重複なし)と、前回の114,158人を大きく上回りました。

次回JIMTOF2026は2026年10月26日(月)～31日(土)東京ビッグサイトにて開催予定です。

■ JIMTOF2024 来場者数

(単位：人)

日付	天候	来場者数 ※重複なし	来場者数 ※重複あり
11/ 5 (火)	晴のち曇	18,792 (内海外 3,205)	18,792 (内海外 3,205)
11/ 6 (水)	曇り	22,296 (内海外 2,519)	28,132 (内海外 4,455)
11/ 7 (木)	晴れ	26,348 (内海外 2,314)	33,643 (内海外 4,643)
11/ 8 (金)	晴れ	33,925 (内海外 1,377)	43,819 (内海外 3,529)
11/ 9 (土)	晴れ	22,175 (内海外 805)	29,478 (内海外 2,006)
11/10 (日)	曇り時々雨	5,482 (内海外 203)	8,806 (内海外 677)
合計		129,018 (内海外10,423)	162,670 (内海外18,515)

※重複なし：開催期間中の重複なし 同人物が複数日に渡って来場した場合も1名とカウント
 ※重複あり：開催期間中の重複あり 当日の重複は除く



工業会ブース

日本機械工具工業会会員出展社ブース



(株)アライドマテリアル



(株)イワタツール/ (株)田野井製作所



(株)栄工舎



NTKカuttingツールズ(株)



エフ・ピー・ツール(株)



(株)エムエーツール



エリコンジャパン(株) バルザース事業本部



オーエスジー(株)



岡崎精工(株)



(株)小笠原プレジジョンラボラトリー



カネックス刃物工業(株)



兼房(株)



京セラ(株)



(株)共立合金製作所



協和精工(株)



グリーンングジャパン(株)



(株)神戸製鋼所



(株)サイトウ製作所



サンアロイ工業(株)



(株)三和製作所



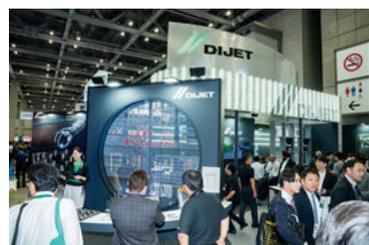
新明和工業(株)



住友電気工業(株)



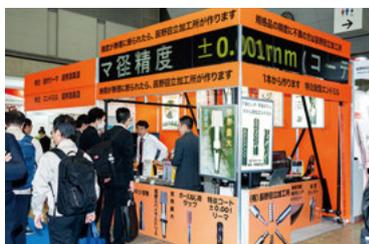
CemeCon(株)



ダイジェット工業(株)



大洋ツール(株)



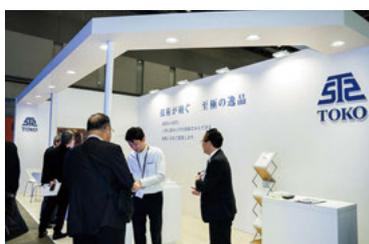
(有)辰野目立加工所



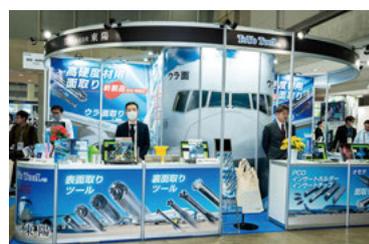
(株)タンガロイ



(株)中京



(株)東鋼



(株)東陽



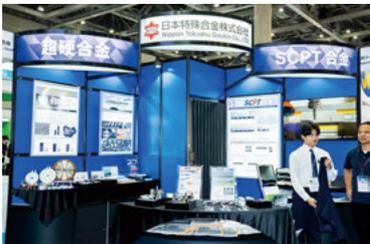
(株)トーカロイ TGK



(株)ナチツールエンジニアリング



日進工具(株)



日本特殊合金(株)



(株)ノトアロイ



(株)不二越



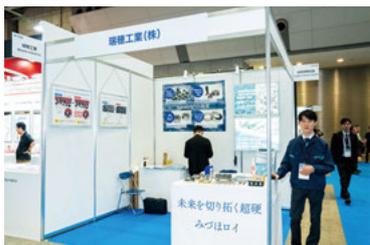
富士精工(株)



富士ダイス(株)



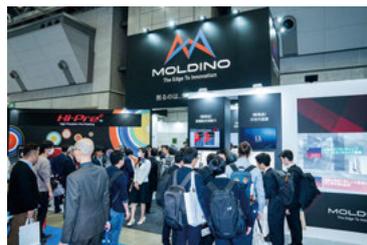
マコトイ工業(株)



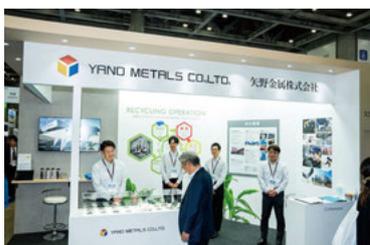
瑞穂工業(株)



三菱マテリアル(株)



(株)MOLDINO



矢野金属(株)



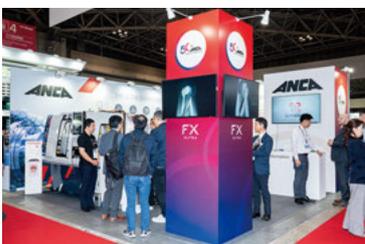
(株)満満和製作所



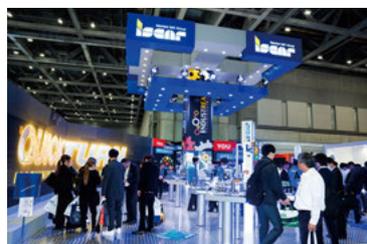
ユニオンツール(株)



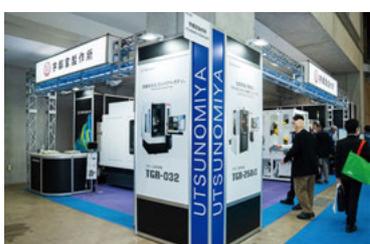
菱高精機(株)



ANCA Machine Tools Japan(株)



イ斯卡ルジャパン(株)



(株)宇都宮製作所



AFCジャパン(株)



エムゲ・フランケン(株)



株式会社オンワード技研



グリーンツール株式会社



KFカーバイドジャパン株式会社



ケナメタルジャパン株式会社



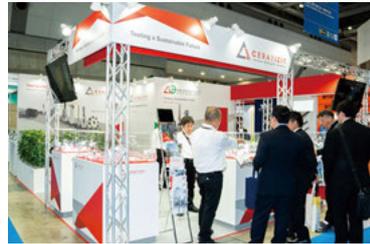
CIMSOURCE Japan株式会社



CYカーバイドジャパン株式会社



株式会社真誠



株式会社セラティジットジャパン



創信日本株式会社



日本アイ・ティ・エフ株式会社



日本コーティングセンター株式会社



日本ウォルフラム株式会社



日本金鷲硬質合金株式会社



ノガ・ウォーターズ株式会社



ビーティーティー株式会社



Paul Horn GmbH



本多プラス株式会社



株式会社松岡カッター製作所



マンヨーツール株式会社



有限会社鈴峰



YG-1ジャパン株式会社

◆会社紹介

当社は、2021年8月に三菱重工業株式会社の工作機械事業を継承して設立したニデックグループの会社です。主な事業は、機械を作るための機械“マザーマシン”と呼ばれる工作機械の他に、切削工具や精密位置検出器の製造・販売・サービスを行っています。



本社(栗東工場)全景

滋賀県栗東市にある本社の敷地面積は約37万m²(甲子園球場10個分)であり、北は名神高速道路、東は関西屈指の名門ゴルフコース琵琶湖カントリー倶楽部に隣接しています。

琵琶湖カントリー倶楽部に隣接しています。

当社の切削工具の歴史は第二次世界大戦末期、1945年に当時京都市太秦にあった工場において航空機エンジン製作に使用する治工具を製造したことに始まります。その後、戦後の民需転換によりトラックの治工具と蒸気機関車用ステイ・タップの製造を始め、自動車の各種歯車部品加工用の切削工具(ホブ、ピニオンカッタ、スパイラルベベルギアカッタ他)を製作したのがルーツとなっています。1955年頃には乗用車の国産化に伴い切削工具の需要が拡大。歯車加工用の切削工具以外にもラック型カッタや各種ブローチを生産するなど、製品ラインアップを拡充してきました。1983年に滋賀県栗東市に新工場を建設・移転し、切削工具の事業拡大を図ってきました。1997年には切削油を一切使わない、世界初のドライカット歯車加工システムを開発し、新コーティングを施したハイスホブ(切削工具)“スーパードライホブ”を開発・実用化しました。

今後も日本のほか、アメリカ、インドを加えた世界製造三拠点において、各拠点が持つ高い技術力とこれまで培ってきた経験を融合し、グローバルニーズに応える多様な工具を提供していきます。

◆滋賀県栗東市の紹介

滋賀県は日本のほぼ中央にあり、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接しています。また、周りを伊吹、鈴鹿、比良、比叡などの山々に囲まれ、中央には県の面積の約6分の1を占める日本で一番大きな湖琵琶湖があります。県内には多くの歴史遺産・文化遺産などが残っ

ており、各地域の中で大切に引き継がれています。2024年のNHK大河ドラマ『光る君へ』で主人公の紫式部が『源氏物語』を書き始めたと言われる石山寺は滋賀県大津市にあり、全国的に注目を集めました。

栗東市は大津市に隣接する滋賀県の南部に位置し、総人口は2024年10月1日現在70,434人。市の北部は平坦地、南部は緑豊かな山地となっており、国道1号線(旧東海道)及び国道8号線(旧中山道)、名神高速道路栗東インターチェンジなど、交通の要衝として製造業・商業・流通業など数多くの企業が立地しています。



滋賀県栗東市
出典：滋賀県栗東市

◆馬のまち栗東

栗東市には、日本に2カ所しかない日本中央競馬会の競走馬調教施設JRA栗東トレーニング・センター(通称：トレセン)があります。面積は約150万m²、甲子園球場が40個も収まる広大な敷地には、6つの調教コースをはじめ、



栗東市マスコット
キャラクター「くりちゃん」
出典：滋賀県栗東市※転用禁止

2,000頭を超える競走馬が生活する厩舎、競走馬診療所やスイミングプール、乗馬苑など様々な施設が完備されており、調教師や騎手をはじめ、馬と関わる人たちが多く暮らしていることから、栗東は馬のまちとして全国に知名度を響かせています。

◆観光スポット～金勝山ハイキングコース～

まちの南部には、金勝山・阿星山・龍王山・鶏冠山などをはじめとした金勝アルプス(近江湖南アルプス)があります。中でも龍王山には平安時代の仏教文化の一翼を担っていた金勝寺や平安時代に作られたといわれる狛坂磨崖仏などがあり、これらの史跡をたどるハイキングコースが整備されています。ハイキングコースには、耳岩や天狗岩など自然にできた珍しい形の岩があり、そこから見る眺望は壮大です。



天狗岩(手前)から、琵琶湖と比叡山を望む
出典：滋賀県栗東市

2024年度上期生産額実績並びに生産額改訂見通し

(単位：百万円)

品 目	2023年度			2024年度上期実績および改訂見通し											
	上期実績	下期実績	年度実績	4月 生産額	5月 生産額	6月 生産額	7月 生産額	8月 生産額	9月 生産額	上期 実績	前年 上期比	下期改訂 見通し	前年 下期比	年度改訂 見通し	前年度比
ドリル	9,404	8,502	17,906	1,219	1,076	1,149	1,271	1,055	1,149	6,919	73.6%	8,111	95.4%	15,030	83.9%
エンドミル	2,388	2,274	4,662	415	374	432	472	396	393	2,480	103.9%	2,326	102.3%	4,807	103.1%
カッタ	450	486	936	90	91	96	117	114	131	639	142.0%	486	100.0%	1,125	120.2%
ギャクッタ	4,179	4,273	8,453	660	669	664	649	596	635	3,874	92.7%	4,670	109.3%	8,544	101.1%
ブローチ	4,194	4,495	8,689	781	804	776	787	761	736	4,645	110.7%	4,733	105.3%	9,378	107.9%
ねじ加工工具	18,445	18,981	37,426	3,390	3,067	2,958	3,124	2,455	2,806	17,800	96.5%	18,886	99.5%	36,686	98.0%
バイト	61	62	123	10	8	10	8	6	6	49	80.2%	62	99.8%	111	90.1%
リーマ	755	675	1,430	133	120	122	117	100	118	710	94.0%	663	98.3%	1,373	96.1%
鋸刃カッタ	799	775	1,574	115	110	115	128	125	121	713	89.2%	790	102.0%	1,503	95.5%
耐摩工具	1,051	973	2,023	177	174	157	170	143	163	983	93.6%	929	95.5%	1,912	94.5%
特殊鋼工具計	41,727	41,494	83,221	6,990	6,492	6,477	6,843	5,752	6,259	38,813	93.0%	41,656	100.4%	80,469	96.7%
ドリル	21,345	21,535	42,880	3,742	3,576	3,713	3,908	3,513	3,734	22,186	103.9%	22,116	102.7%	44,302	103.3%
エンドミル	21,168	20,284	41,453	3,599	3,575	3,434	3,898	3,466	3,463	21,435	101.3%	20,649	101.8%	42,085	101.5%
カッタ	2,922	3,016	5,938	527	492	485	534	448	495	2,981	102.0%	3,055	101.3%	6,035	101.6%
ねじ加工工具	1,894	2,031	3,925	375	337	371	404	313	355	2,155	113.8%	2,039	100.4%	4,194	106.9%
バイト	5,215	5,224	10,439	784	820	827	889	774	863	4,958	95.1%	5,088	97.4%	10,046	96.2%
リーマ	1,470	1,248	2,718	213	226	208	231	193	261	1,331	90.6%	1,250	100.1%	2,580	94.9%
鋸刃カッタ	307	280	586	40	59	42	53	42	55	290	94.4%	306	109.5%	596	101.6%
インサート	83,149	82,762	165,910	12,938	13,857	14,050	14,975	12,955	14,534	83,308	100.2%	85,990	103.9%	169,298	102.0%
耐摩工具	17,264	17,991	35,255	2,920	2,894	2,979	3,160	2,783	2,918	17,654	102.3%	18,117	100.7%	35,771	101.5%
鋳山土木工具	4,742	4,926	9,668	776	1,011	839	920	799	799	5,144	108.5%	5,138	104.3%	10,282	106.3%
超硬工具計	159,476	159,297	318,773	25,913	26,847	26,949	28,971	25,285	27,476	161,442	101.2%	163,748	102.8%	325,190	102.0%
ドリル	524	522	1,046	107	101	96	98	79	103	584	111.3%	531	101.8%	1,115	106.6%
エンドミル	795	795	1,589	128	139	128	144	133	131	802	101.0%	813	102.3%	1,615	101.6%
カッタ	263	273	537	32	34	37	43	30	37	214	81.3%	280	102.3%	494	92.0%
インサート	12,386	11,967	24,353	1,986	2,025	2,111	2,229	2,020	2,068	12,438	100.4%	12,529	104.7%	24,967	102.5%
ダイヤモンド・CBN計	13,969	13,556	27,525	2,254	2,299	2,373	2,514	2,261	2,338	14,039	100.5%	14,153	104.4%	28,192	102.4%
ドリル	31,274	30,559	61,832	5,068	4,753	4,958	5,277	4,647	4,986	29,689	94.9%	30,758	100.7%	60,447	97.8%
エンドミル	24,351	23,353	47,703	4,142	4,088	3,994	4,513	3,995	3,987	24,718	101.5%	23,789	101.9%	48,507	101.7%
カッタ	3,636	3,775	7,411	649	617	618	694	591	664	3,834	105.4%	3,821	101.2%	7,655	103.3%
ギャクッタ	4,179	4,273	8,453	660	669	664	649	596	635	3,874	92.7%	4,670	109.3%	8,544	101.1%
ブローチ	4,194	4,495	8,689	781	804	776	787	761	736	4,645	110.7%	4,733	105.3%	9,378	107.9%
ねじ加工工具	20,339	21,011	41,351	3,766	3,404	3,329	3,528	2,768	3,162	19,956	98.1%	20,925	99.6%	40,880	98.9%
バイト	5,277	5,285	10,562	794	829	838	897	780	869	5,007	94.9%	5,149	97.4%	10,156	96.2%
リーマ	2,225	1,923	4,148	345	346	330	347	293	379	2,041	91.7%	1,913	99.5%	3,954	95.3%
鋸刃カッタ	1,106	1,054	2,160	155	169	156	181	167	175	1,003	90.7%	1,097	104.0%	2,099	97.2%
インサート	95,535	94,728	190,263	14,924	15,881	16,162	17,204	14,975	16,601	95,747	100.2%	98,519	104.0%	194,265	102.1%
その他工具	7,805	7,102	14,907	1,204	1,224	1,287	1,378	1,257	1,348	7,699	98.6%	7,556	106.4%	15,255	102.3%
ボディ関係	10,141	9,533	19,673	1,611	1,689	1,664	1,874	1,527	1,693	10,058	99.2%	11,439	120.0%	21,497	109.3%
切削工具小計	210,061	207,092	417,153	34,100	34,472	34,775	37,330	32,358	35,235	208,270	99.1%	214,369	103.5%	422,638	101.3%
耐摩工具	18,315	18,964	37,279	3,097	3,068	3,136	3,330	2,927	3,080	18,638	101.8%	19,046	100.4%	37,684	101.1%
鋳山土木工具	4,742	4,926	9,668	776	1,011	839	920	799	799	5,144	108.5%	5,138	104.3%	10,282	106.3%
総合計	233,117	230,982	464,100	37,972	38,550	38,750	41,580	36,084	39,115	232,051	99.5%	238,553	103.3%	470,604	101.4%

(出典：一般社団法人 日本機械工具工業会 会員統計)

新会員代表者紹介

会員代表者が交代されました。

日本ハードメタル株式会社

代表取締役社長 竹生 光志 様 (12月付)

合併のお知らせ

グリーンングジャパン株式会社とKFカーバイドジャパン株式会社が合併いたしました。(12月31日付)

合併後名称はグリーンングジャパン株式会社となります。

会員代表者 代表取締役社長 ピーター オッテン 様

所在地 本社・工場 愛知県

編集後記

新年あけましておめでとうございます。個人的に、2024年は楽しいことや悲しいこと、本当にたくさんの出来事が起きた1年でした。皆さまは、どのような1年だったでしょうか。

さて、2025年の干支は乙巳で、60年周期の干支で42番目に位置する「努力を重ね、ものごとを安定させていく」という意味合いを

持つ年とされているそうです。わたしはたくさんの努力が楽しい未来につながるよう、仕事もプライベートもがんばろうと思います！そして、その都度ご褒美として美味しいごはんとお酒を楽しみ、充実した1年にしていきたいです！

本年もJTA Journalをよろしくお願いたします。